

118

CZ

666

036

兵役者須知

東京 兵教史館發兌

3E-42

CZ
671
088

2
666
036

兵役者須知序

此書此新編ハ吾人一讀シテ其價值アルヲ知ル
 明治二十三年ノ如キ吾政府ニ於テ頒布セラレタル法
 令ノ數ハ實ニ百餘號ノ多キニ達セリ斯ク多數ナル法
 令ヲ一々胸中ニ記サンニハ執務者其人ト雖モ容易ニ
 爲ス能ハサルノ業トス縱ヒ之ヲ記サ、ルモ積年累堆
 セシ浩漭ナル法令中之ヲ探クルノ煩ニ堪ヘス况ンヤ
 其他ノ者ニ於テナヤ編者茲ニ觀ルアリテ徵兵ニ關ス
 ル法令ハ細大洩サス之ヲ輯メ且ツ解釋書式等ヲ加ヘ
 テ一小冊トナシ名ケテ兵役者須知ト云フ是レ恰モ渺



茫タル洋中ニ一個ノ羅針ヲ得タルト一般苟モ事ニ此
ニ當ルモノハ老練ナル同僚ト席ヲ同フスルノ思ヒアリ
豈ニ管ニ兵役者ヲ益スルノミナランヤ

明治二十四年立秋下浣
厭水逸史

凡例

一本書ハ徵兵令、同事務條例、同施行細則、一年志願兵條例、同施行細則、徵
兵検査手續、志願兵身体検査手續、豫備後備下士兵卒服役條例、歸休兵
條例、召集條例及ヒ各府縣ノ伺指令等ヲ基トシ各種兵役ヲ志願スル
手續猶豫、免役トナルヘキ資格徵集ニ應スヘキ壯丁ノ心得並ニ各兵
役中ノ心得ヲ各別ニ編纂シ專ラ會得シ易カラシムルヲ目的トシ字
句ノ配合章條ノ順序ノ如キハ敢テ意ヲ留メサルモノトス看者焉レ
ヲ諒セヨ

一條例ヲ引用シ其難解ノ條ニハ割註ヲ施シ解釋ニ便スルヲ以テ間々
條例ノ正文ト相違スルヲアリ

一當今實施ノ條例多クハ願届ノ書式ヲ示サス執務者ノ便宜ニ任セラ
ル、ヲ以テ此書中ノ書式ハ一ニヲ除クノ外ハ編者ノ作為シタルモ
ノナレハ素ヨリ相違ナキヲ保セス然レモ皆要領ヲ記セシカ故ニ據
テ以テ願届ヲ爲ストキハ蓋シ大差ナカルヘシ

一書中意ヲ尽サ、ル所或ハ特ニ注意ヲ要スル所ハ齧頭ニ要領ヲ摘載
シテ看者ノ便ニ供ス

明治二十四年秋八月

編者識

兵役者須知目次

第一章	二十歳未滿ノ者現役志願ノ心得	一丁
第二章	徴兵適齡者現役志願心得	五丁
第三章	一年志願兵出願ノ心得	六丁
第四章	六週間現役兵心得	十三丁
第五章	一般壯丁ノ心得	十四丁
第六章	免役延期猶豫及ヒ國民兵編入	二十二丁
第七章	現役兵入營前ノ心得	三十三丁
第八章	豫備徵員中ノ心得	四十四丁
第九章	訴願者心得	四十六丁
第十章	陸軍現役兵入營中ノ心得	五十三丁

第十一章 歸休兵並ニ豫備役、後備役兵服役中ノ心得 六十二丁

兵役者須知目次終

兵役者須知

第一章 二十歳未滿ノ者現役ヲ志願スル時ノ心得

第一條 徵兵令第十條ニ基キ現役ニ服スルヲ願フ者ハ左ノ件々ヲ具備スルヲ要ス

第二項 志願スル年ノ十二月ニ於テ廿歳ヨリ多カラス十七年ヨリ少カラサルヲ

第三項 徵兵適齡前ニ於テ現役ニ服シ滿期後間斷ナク學術ヲ脩メ若クハ實業ニ

従事スルニ便スルカ爲メナルカ又ハ陸海軍下士希望ノ目的ナルヲ要シ苟クモ糊

口ノ爲メニスルカ如キ念慮アル可カラサルヲ

第四項 可成ハ高等小學科卒業以上ノ學力ヲ有シ身元確實ナルヲ

第五項 戸主若クハ家族ノ承認ヲ得タルヲ

第六項 十七歳以上十八歳未滿ノ者ハ四尺九寸以上十八歳以上ハ五尺以上ノ身

長アルヲ

第六項 身体ノ各部ニ於テ兵役ニ堪ユ可カラサル疾病畸形アラサルヲ

第二條 志願者ハ其願書ニ戸主若クハ家族ノ承認書(承認ハ必スシモ)ヲ添ヘ十二月

一日前自己ノ服役セント欲スル軍隊又ハ鎮守府ニ願出許可ヲ受クヘシ其願書及ヒ

志願者若シ單身戸主ナル時ハ親戚或

ハ隣保ノ承認書ニ
テ宜シ

承認式大畧左ノ如シ
但シ服役セント欲スル軍隊又ハ鎮守府トハ本籍所屬ノ師管タルト他ノ師管タル
トノ別ナキモノトス

徵兵令第十條現役志願書

何府(縣)郡(區)町(村)何番地

族籍職業

何ノ誰

何年何月日生

右私義本年十二月ニテ何歳何ヶ月ト相成申候處兼而陸(海)軍下士志望
(滿期後間斷ナク何學修業仕度候)ニ付今般徵兵令第十條現役志願仕御
採用ノ上ハ貴隊(貴府)ニ於テ服役仕度候間御檢査之上御許可被成下度
別紙戸主(母)(隣保)ノ承認書相添此段奉願候也

明治何年月日

右何ノ誰

何隊長(何鎮守府司令長官)官姓名殿

承認書

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何ノ誰

何年月日生

右今般徵兵令第十條現役志願ニ付貴隊(貴府)ニ於テ服役仕度段願出候
事實正ニ承認仕候也

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

明治何年月日

戸主(兄)(隣保)

姓名印

何隊長(何鎮守府司令長官)官姓名殿

第三條 前條服役ノ許可ヲ受ケタル者ハ該隊ヨリ証明トナルヘキ書類ヲ請取り入營
前本籍地ノ市町村長ニ届出可シ

徵兵令第十條現役兵御採用相成候ニ付御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

姓名

何年月日生

右私義徵兵令第十條ニ據リ何隊長(何鎮守府司令長官)へ現役兵志願仕
候處別紙該隊証明書之通御採用相成候ニ付此段及御届候也

明治何年月日

右 何ノ誰 印

何市(町)(村)長姓名殿

東京 都大坂
府 三府
ノ在リ
ニハ區
テハ區
長宛以
下市ト
アルハ
皆同シ

第二章 徵兵適齡者現役志願心得

第一條 体格甲種ニシテ身元確實ナル者ハ身体檢査ノ際現役ヲ志願スル時ハ許可セ
ラル、コアルベシ
但シ願書ハ旅管徵兵官宛ニ認メ大隊區徵兵官ニ差出スベシ

適齡者現役志願書

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

姓名

何年月日生

右私義本年徵兵適齡ニ候處家事故障等更ニ無之候間抽籤之法ニ據ラス
シテ陸(海)軍現役ニ御採用被成下度此段奉願候也

明治何年月日

右 姓名 印

第何旅團徵兵官

御 中

第三章 一年志願兵志願者ノ心得
ノ條ト條例明文外ノ心得
トヲ編シテ志願者ニ使ス
(一年志願兵ニ付テノ事ハ一年志願兵條例及ヒ同細則アリテ明瞭ナレハ本章ハ難解)

第一條 滿十七歲(志願スル年ノ)以上滿二十六歲(志願スル年ノ一月ヨ)以下ニシテ

官立 小學校及ヒ撰科(撰科トハ法、工、文、理、ノ各分科大學課程中一課目又ハ數等ノ別科ヲ除ク)課目ヲ撰ヒ專修スルモノ、○文部大臣ニ於テ認可セル醫學校卒業者若クハ醫科大學ノ試問ニ應答シ之ト同)府縣立師範學校(明治十九年學制改等以上ノ學力アルモノニ限リ前項ニ準ス)中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト初等師範學校卒業)者モ之レニ準ス
認タル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校(認定及ヒ認可)ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試驗委員ノ試驗(試)ノ科目ハ其時々陸)ニ及第シ現役中食料被服裝具等ノ費用ヲ自辨スル者ハ志願ニ軍大臣ノ告達アリ)由リ一年間陸軍現役ニ服スルヲ得但シ費用ノ全額ヲ自辨スル能ハサルノ証アル者ハ其幾部ヲ官給スル事アルベシ
前項ノ一年志願兵特別ノ教育(豫備後備ノ將校ト)ヲ受ケ現役滿期ノ後二ケ年間豫

備役ニ五ケ年間後備役ニ服スルモノトス

文部大臣ニ於テ認定及ヒ認可シタル學校左ノ如シ

元新潟縣々立學校中學校(初等科) 明治十五年八月規則改正以後ノ分(二十一年) 除ク

全明訓學校(初等科) 二十一年 除ク(七月廢ム)

全醫學學校(豫科) 十四年一月規則改正以後ノ分(二十一年) 除ク(三月廢ム)

元縣立石川縣專門學校(二十一年) 三月廢ム(附屬中學校ヲ除ク)

全石川縣 甲 醫學學校(二十一年) 三月廢ム

元縣立福岡中學校(初等科) 十六年二月改正以後ノ分(二十年二月福岡尋常中學校) 除ク

全福岡醫學學校十五年十二月規則改正以後ノ分(二十一年) 三月廢ム

長崎縣長崎市々立長崎商業學校

私立濟々嶺(熊本)

新潟縣立新潟縣農學校

- 私立尋常大村中學校(長崎縣)
- 私立獨逸學協會學校(東京)
- 私立明治法律學校(東京)
- 私立東京專門學校(東京)
- 私立東京法學院(東京)
- 私立專脩學校(東京)
- 私立東京佛學校
- 私立東京法學校(明治二十二年九月合併佛和法津學校ト改稱)
- 京都府々立京都商業學校
- 宮城縣々立宮城農學校
- 兵庫縣々立神戸商業學校
- 大坂市々立大坂商業學校
- 大坂府々立大坂農學校
- 大坂府々立大坂醫學校

- 京都府々立京都醫學校
 - 愛知縣々立愛知醫學校
 - 石川縣々立石川縣農學校
 - 京都府々立京都府畫學校
 - 滋賀縣々立滋賀縣商業學校
 - 石川縣々立石川縣工業學校
 - 北海道廳立函館商業學校
 - 猶興館(長崎縣)
 - 鳥取縣々立農學校(獸醫學科ヲ除ク)
 - 愛知縣々立名古屋商業學校
 - 成城學校(東京)幼年學科ヲ除ク
- 第二條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ因リ懲罰ニ處セラレタル者ハ一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得ス但シ大赦ノ恩典ニ係リ若クハ罰金ヲ禁錮ニ換ヘラレタル者ハ此限リニアラズ

前年志願者多人數ニシテ定員外トナリ翌年ニテ回サレタモノ

第三條 志願者ニシテ徵兵適齡ノ者若シ試験委員ノ検査ニ合格セサル時ハ其年ニ於テ一般ノ徵兵ニ徵集セラル、者トス其年徵集セラレサル者ハ次年ニ於テ再願スルコトヲ得ル

第四條 試補及ヒ判任官見習并ニ非職休職ノ官吏ニシテ一年志願兵トナル者ハ其儘服従スルコトヲ得ル但有給者ニハ俸給ヲ給セラレス試補及ヒ判任官見習ニ在リテハ服役時日ヲ實務練習ノ期限ニ算入セラレス

第五條 官費ヲ以テ服役スル志願兵ニシテ次年回シトナリタルモノハ次年ニ於テ願書ヲ要セス検査ヲ爲サスシテ採用サル、モノトス

第六條 其年九月三十日迄ニ分科大學ヲ卒業スヘキ見込ヲ以テ一年志願兵ヲ出願シ置キタルモノ卒業試験ノ成績優等ナルヲ以テ大学院入學ノ許可ヲ受ケタル時ハ志願兵ノ出願取消ヲ請求シ大学院ニ入學スルコトヲ得若シ疾病等ニテ卒業セサルモノハ志願兵ノ取消ヲ出願スルコトヲ得卒業試験ニ及第セサルモノハ其志願消滅ス

第七條 一年志願兵條例第九條第二項ノ學校ノ全學科ヲ修了シ九月三十日迄ニ卒業試問ヲ經サルモノ十月三十一日マテニ卒業試問ヲ結了スヘキモノニシテ入營期ヲ後

レサルモノハ學校長ノ証明書ヲ以テ出願スルコトヲ得

第八條 身体検査ニ合格スルモ學術検査ニ合格セサルモノハ適齡ノ際一般徵兵ト同シク更ニ身体ノ検査ヲ受クヘキモノトス

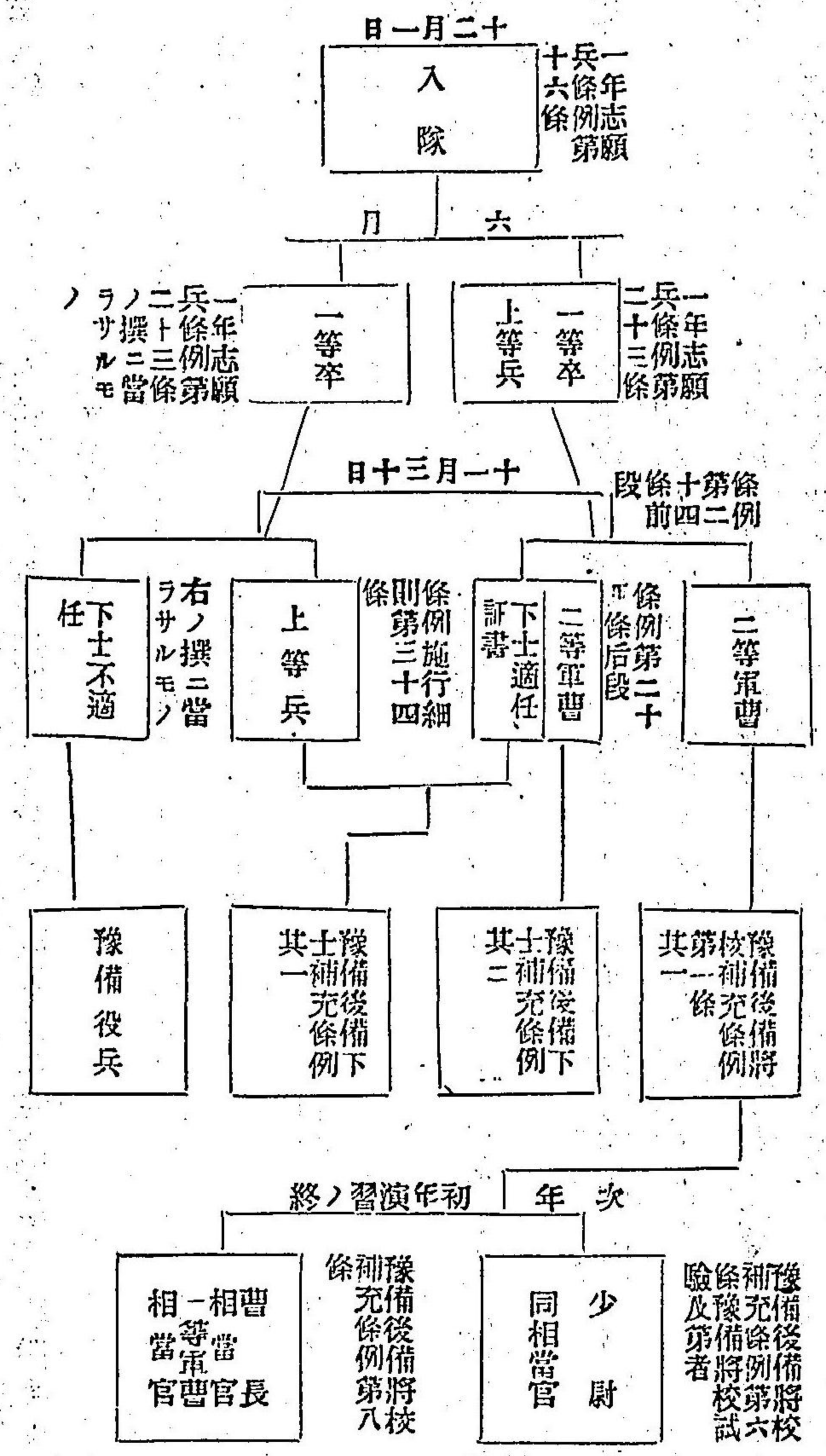
第九條 一年志願兵認定証書ヲ得タルモノ正當ノ事由ナク十二月一日ニ入隊セサル爲メ資格ヲ失ヒタル者ハ翌年更ニ出願スルコトヲ得ス

第十條 戰時若クハ事變ニ際シ一般兵卒ト同シク服役シ一年志願兵ノ教育ヲ受ケサル時ハ其資格消滅ス

第十一條 一時服役ニ堪ヘサル爲メ徵集延期トナリタルモノハ其翌年更ニ願書ヲ差出スヘキモノトス

第十二條 一年志願兵服役中禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ疾病傷痍ニ依リ現役ヲ免セラレタル者二十歳以上ナル時ハ更ニ徵集ニ應スル事ナキモノトス

第十三條 一年志願兵入隊ヨリ卒業ニ至ルマテ及ヒ次年勤務演習ノ終リニ至ルマテノ進級ヲ圖スル時ハ左ノ如シ



第四章 六週間現役兵心得

第一條 滿十七歲(入營年ノ)以上二十六歲以下ニシテ官立府縣立師範學校(明治十九年學制改)革以前高等中等又ハ初等師範(ノ)學校卒業ノ者モ之レニ準ス(ノ)卒業證書ヲ所持シ官立公立小學校ノ教職ニ在ルモノハ六週間陸軍現役ニ服セシメ其服役ニ關スル費用ハ官給セララル

前項ノ現役ヲ終リタルモノハ直チニ國民兵役ニ服セシメララル

第二條 前條ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十六歲マテニ其教職ヲ罷ムル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ更ニ常例ノ兵役ニ服スヘキモノトス但シ一年志願兵ヲ志願スルモノハ此限リニ非ス

第三條 六週日間現役ニ服スヘキモノハ其教職ニアル地ヲ包括スル師管ノ步兵隊ニ編入セララル、モノニシテ其身体檢査ハ入營ノ際(六月一日)步兵聯隊ニ於テ之レヲ行ヒ檢査ニ合格セサルモノハ國民兵役ニ編入セララル

但シ豫メ身幹尺度ヲ道廳府縣ニ於テ調査シ置キ身幹五尺二寸ニ滿タサルモノハ身体檢査ノ爲メ召集スル事ナク直チニ國民兵役ニ編入セララル

第四條 若シ疾病ニ依リ身体檢査ニ出頭セサルモノハ延期トナシ翌年ニ於テ徵集サ

第五條 舊徴兵令ニ依リ徵集猶豫中ノ者一旦其教職ヲ止メ再ヒ官公立小學校教員トナルモノハ六週間現役ニ服スルモノトス但シ徴兵抽籤後入營前再ヒ教員トナルモノハ本條ノ限リニアラス

第六條 公立小學校長ノ職ニ在ルモノハ教員ト同シク六週間現役ニ服スルヲ得

第五章 一般壯丁ノ心得

第一條 毎年一月ヨリ十二月マテニ滿二十歳ト爲ルモノハ其年一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ書面ヲ以テ(戶主ニ非ラサル者ハ其戶主ヨリ)本籍ノ市町村長ニ届出ヘシ但シ二十歳未滿ニシテ現役ヲ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス

此届出
ヲ爲サ
サルモ
ノハ三
圓以上
三十圓
以下ノ
罰金ニ

徴兵適齡御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

姓名

此届出
ヲ爲ス
ニ當リ
戶主不
在ナル
ハ家
族若ク
ハ親戚
ヨリ届
出ヘシ

右私(私何男或ハ何々)儀本年何月ニテ滿二十歳ニ相成候間此段及御届候也

何年月日生

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

年月日 右 (戶主)(家族) 姓名印

何市町村長姓名殿

第二條 陸軍諸生徒(陸地測量部修技)及ヒ海軍生徒(海軍々醫生)ハ常備兵籍ニ編入

セラレシ者ニ付適齡届ヲ爲スニ及ハス但シ東京商船學校函館商船學校モ之レニ準

第三條 附籍者ニシテ徴兵適齡ノ片ハ戶主ト家族トヲ問ハス戶主ヨリ又家族ノミ他

～附籍ノ場合ニ於テハ本籍戸主ヨリ第一條ノ届書ヲ差出スヘシ
 第四條 徵集ハ本籍所在ノ徵募區ニ於テセラル、ヲ例トス然レモ他ノ徵募區ニ寄留
 スル者ニシテ其地ニ於テ徵集ニ應セント欲スル者ハ一月三十一日迄ニ本籍地ノ島
 司又ハ郡市長ニ願出可シ但シ其願書ニハ本籍地町村長ノ奥書証印ヲ受クヘキモノ
 トス

寄留地ニ於テ御徵集願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業何ノ某何男(或ハ何々)(戸主)

當時府縣郡區町村
 何番地何々方寄留
 姓 名

何年月日生

右私儀本年徵兵適齡ニ候處當時願書之地ニ單身(全戸)寄留罷在候間同
 地ニ於テ御徵集被成下度此段奉願候也

此願書
 ハ本人
 ヨリ差
 出キ
 出ト
 モレト
 ス然レ
 モ時宜
 比ヨリ
 ニ其
 テハヨ
 リ其
 戸主ヨ
 リ出
 ス差出
 シ

明治何年月日

右

姓 名 印

何 島 司 姓 名 殿

前書之通相違無之候也

何町村長 姓 名 印

第五條 學術修業等ノ爲メ一時他ニ寄留スル者該地ニ於テ徵集ニ應スルニアラスシ
 テ身体検査ノミヲ受ケ度旨願出ル時ハ検査及ヒ抽籤等ニ差支ナキ場合ニアリテハ
 許可サル、モノトス

寄留地ニ於テ身体検査相受度願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

當時何府縣郡區町村 姓 名
何番地何ノ某方寄留 何年月日生

右私儀何學修業(何術傳習)ノ爲メ當時頭書ノ學校(何々傳習所)ニ寄留罷在候處本年何月ニテ全科卒業(傳習濟)ト相成候ニ付目今殊更大切ノ時機ニ御座候然ルニ徵兵身体檢査トシテ遠路歸郷仕候テハ爲メニ多分ノ日子ヲ要シ多年ノ苦學モ水泡ニ屬シ候場合ニモ立至リ可申誠ニ以テ遺憾至極ニ奉存候且卒業(傳習濟)ノ上ハ歸縣可致心得ニ候間身体檢査ノミ於寄留地御施行被成下度此段奉願候也

明治何年月日 右 姓 名 印

何 島 司 姓 名 殿
何郡(市)長

前書之通相違無之候也

明治何年月日 何町村長 姓 名 印

第六條 甲徵募區ヨリ乙徵募區ニ寄留應徵願濟ノ者本籍ニ復歸シ又ハ丙徵募區ニ寄留替ヲ爲シ更ニ其地ニ於テ徵集ニ應センコトヲ志望スルモノハ一月三十一日迄ニ乙徵募區ノ島司又ハ郡市長ニ願出可シ

寄留地應徵願濟ノ者 本籍ニ復歸(寄留替)願

何府縣郡區町村何番地 族籍職業

何府縣郡區町村何番地 姓 名
何學校(何塾)(何某方)寄留 何年月日生

右私儀頭書寄留地ニ於テ應徵之義願濟ニ候處商業(學術修業)ノ都合ニ
ヨリ本籍ニ復歸(更ニ何府縣郡區町村何番地(何某)へ寄留)仕度候ニ付
御許可被成下度尤モ御檢査ノ節ハ左記人名之者へ御達被下度然ル上ハ
無相違出頭御檢査相受可申候間此段奉願候也

明治何年月日

右 姓 名 印

通報人

何府縣郡區町村何番地住

族籍職業

姓 名

何島司

姓名 殿

何郡市長

書之通相違無之候也

明治何年月日

何町村長

姓

名 印

第八條 疾病傷痍或ハ犯罪等(逃亡失踪ハ)ニテ身体ノ檢査ヲ受難キ者ハ書面ヲ以テ
檢査當日迄ニ島司又ハ郡市長ニ届出可シ其疾病傷痍ノ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添フ可
シ但シ島司又ハ郡市長ニ差出ス届書ニハ町村長ノ奥書証印ヲ受ク可キモノトス

疾病(傷痍)(處刑中)ニテ身体御檢査難相受届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

姓

名

何年月日生

右私儀本日(右ハ私何男ニシテ)(來ル何日)身体御檢査相受可申之處
別紙醫師診斷書之通何々病ニ罹リ(何傷ヲ受ケ)(何々科ニヨリ何月日

此届出
ヲ爲サ
ルモノ
ハ五錢
以上十
圓九錢
以下十
料ノ處
セラニ
ル此届
ハ本入
ヘリ出
キモス

ノナレ
若シ本
刑中等
ナレハ
親戚ヨ
リ差出
スヘキ
ス
ト

ヨリ何々御検査場へ出頭難仕候間此段及御届候也

明治何年月日

右

姓

名印

何島司 姓々殿
何郡市長

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何町村長

姓

名印

第九條 兵役ヲ免カレンカ爲メ身体ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲アル者ハ
一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加シ抽籤法ヲ用
ヒスシテ徵集セラレ又ハ逃亡若クハ潜匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身体検査ヲ
受ケサルモノハ抽籤法ニ依ラスシテ徵集セララル、モノトス

第六章 免役延期猶豫及ヒ國民兵編入

第一條 兵役ヲ免セラル、ハ癡疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査規則ニ照シ兵役ニ堪ヘ

サルモノニ限ル

第二條 禁錮監視又ハ拘留中ニシテ四十歳ニ至ルモノハ免役ニ屬ス

免役証書 用紙厚紙

表 曲尺四寸

第何旅管何大隊區 何府縣郡區町村住 姓 名
右徵兵令第十七條ニ依リ兵役ヲ 免ス
年月日 第何旅管徵兵署 印

裏

一此証書ヲ失ヒ若クハ損傷シタル
片ハ新ニ下渡ヲ島司又ハ郡市長
ニ請求スベシ

曲尺六寸

第三條 右証書再渡請求願書式大略左ノ如シ

徵兵免役証書燒失(何々)ニ付再渡願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

右私儀過ル何年徴兵適齡ニシテ御檢査ノ上第何旅管徴兵官ノ終決處分ニ依テ免役証書御下附相成爾來大切ニ所有罷在候處去ル何日家宅類燒ノ際燒失(何々)仕候間更ニ御下渡被成下度此段奉願候也

明治何年月日

右 姓名印

何島司 姓名殿
何郡市長

第四條 左ノ各項ニ當ルモノハ徴集ヲ延期セラル

- 第一 公權ヲ剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪ノ爲メ訊問若クハ拘留中ノ者
- 第二 賭博犯ノ爲メ處罰中又ハ取調中ノモノ
- 第三 監視中ニシテ十一月三十日迄ニ滿期トナラサルモヲ及ヒ禁錮中ニシテ抽籤前身体檢査ヲ爲シ得サルモノ

新令發布ノ前後ニ拘ハラヌ分家又ハ絶家廢家ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタルモノハ許可サレズ

第四 徴集ニ應スル時ハ其家族自活シ能ハサルノ確証アルモノハ其願ニ由リ

第五條 前條第四項ノ願出ヲ爲スニハ同徴募區内其年ノ徴集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主二名ノ保証書ヲ以テ三月一日迄ニ大隊區徴兵管又ハ警備隊區徴兵官ニ願出ヘシ但シ其願書ニハ町村長ノ與書証印ヲ受クヘキモノトス

御徴集延期願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

姓名

何年月日生

右私儀本年徴兵適齡ニ候處父(母)(兄等)某去ル何月日病死(逃亡)(失踪)致シ殘リノ者ハ皆幼少ニシテ素ヨリ自活難致他ニ救助ヲ受クヘキ親戚トテモ無之然ルニ私儀本年御徴集ニ應スル時ハ忽チ一家ノ者共路頭ニ迷フノ悲境ニ立至リ可申誠ニ以テ無據事情ニ御座候間御徴集延期

ノ義御許可被成下度別紙本年徴集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主二名ノ保証書
相添此段奉願上候也

明治何年月日

右 姓 名 印

何大隊區

徴兵官

何警備隊區

御中

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何町村長 姓 名 印

保証書

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

姓 名

何年月日生

右之者本年徴兵適齡ニ候處父(母)(兄)某去ル何月日死亡(失踪)致殘之
者皆幼少ニ候故右某御徴集ニ應スル時ハ實際家族之者共生活難仕事情
愍然之者ニ御座候右保証仕候也

何府縣郡區町村何番地

族籍職業本年壯丁某父(兄)

姓 名 印

明治何年月日

何府縣郡區町村何番地

族籍職業本年壯丁某父(兄)

姓 名 印

第六條 寄留地應徴ノ者前條ノ願書ハ其地ノ大隊區若クハ警備隊區徴兵官ニ差出ス
ヘキモノナレト保証書ハ本籍徴募區(全戸寄留者ヲ除)ノ者ヨリ差出シタルモノタ
ルヘシ

第七條 徵兵令第十一條第一項(本書第三條第一條)ニ掲クル學校ニ在校ノ者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十六歲迄徵集ヲ猶豫セラル其事故滿二十六歲迄ニ止ミ又ハ二十六歲ヲ過ルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス但第十一條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スルモノ及ヒ第十一條第三項(本書第四章第一條)ニ據リ服役スルモノハ此限リニアラス

學術修業ノ爲外國ニ寄留スル者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十六歲迄徵集ヲ猶豫シ二十六歲迄ニ歸朝シ又ハ二十六歲ヲ過キ歸朝スル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之レヲ徵集セラル但シ陸軍試驗委員ノ試驗ニ及第シタルモノハ一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第八條 前條第一項ニ當ルモノハ學校長ノ證明書第二項ニ當ルモノハ公使又ハ領事ノ證明書(若シ證明書延着スル時ハ一時府縣知事ノ證明書ヲ以テ願出ベシ)ヲ以テ三月一日迄ニ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出可シ其願書ニハ町村長ノ與書証印ヲ受クヘキモノトス

本條ノ願書ハ事故ノ存スル問ハ年々差出スヘ

御徵集猶豫願

何府縣郡區町村何番地
族籍職業

姓 名
何年月日生

右私儀本年徵兵適齡ニ候處別紙證明書之通當今何學校ニ在學(何國何府何學校ニ在學)罷在候間御徵集延期被成下度此段奉願候也

明治何年月日 右 姓 名 印

何大隊區 徵兵官
何警備隊區 御中

前書之通相違無之候也
明治何年月日 何町村長 姓 名 印

證明書

何府縣郡區町村何番地
族籍職業

姓 名

何年月日生

古現今本校₂在學罷在候條此段証明致候也

明治何年月日 何學校長 姓 名 印

徵集延期(猶豫証書)雛形

何府縣郡區町村何番地
族籍職業 姓 名

裏

本証書ハ之レヲ附與シタル日ヨリ
翌年ノ徵兵檢査迄其効ヲ有スルモ
ノトス

右徵兵令第何條ニ依リ徵集ヲ延期
(猶豫)ス

年月日 何大隊區徵兵署 印

凡曲尺三寸

凡曲尺四寸

第九條 左ニ掲クル者ハ徵集ヲ延期シ次年₂ハ翌年ニ非ラス逐年ノ年ナリ且ツ
ルモノハ其年ノ國民ニ於テ仍ホ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシメラル
兵役ニ編入セラル

第一 体格完全且強壯ナルモ身幹末々定尺五₂ニ滿タサルモノ
第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサルモノ
第十條 左ノ各項ニ當ルモノハ初年ニ於テ國民兵役ニ編入セラル

第一 身幹五尺未滿ニシテ次年ニ至ルモ増育ノ見込ナキモノ

第二 身幹五尺未滿ニシテ次年ニ至リ五尺一寸₂増育ノ見込アルモ職工ニ適セサ
ルモノ

第三 身幹五尺一寸以下ニシテ撰兵上其藝能職業職工ニ適セス尙其他ノ兵ニモ
適セサルモノ

第十一條 徵集ニ應スル時ハ其家族自活シ能ハサル確証アリテ徵集延期トナリ其事
故三年ヲ過ルモ仍ホ止マサルモノハ第四年目ノ三月一日迄ニ國民兵編入願ヲ差出
スヘシ

國民兵へ御編入被成下度願

何府縣郡區町村何番地
族籍職業

姓 名

何年月日生

右私儀ハ明治何年徵兵適齡ニ候處父(母)(何々)老衰致シ(不治ノ症ニ罹リ)他ニ救助ヲ受クヘキ親戚トテモ無之御徵集ニ應スル時ハ到底自活シ能ハサルニ付御徵集延期ノ義願上客年ニ至ルマテ年々御許可被成下候得共益々困難相加ハリ如何トモ難致場合ニ御座候間事情御諒察之上何卒國民兵役へ御編入被成下度別紙保證書相添此段奉願上候也

保證書
ハ徵集
延期願
ノ片ト
同様ノ
モノ

明治何年月日

右 姓 名 印

何大隊區

徵兵官

何警備隊區

御中

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何町村長

姓 名 印

第七章 現役兵入營前ノ心得

第一條 各兵科現役ニ徵集セラル、身幹左ノ如シ

砲兵、工兵 五尺四寸以上
歩兵、騎兵、輜重兵 五尺二寸以上
輜重輸卒 五尺一寸以上
諸職工 五尺以上

陸軍 警備隊ノ歩兵砲兵ハ以上ノ定尺ヨリ各二寸以内減縮セラル、コアリ

海軍 水兵、火夫、看病夫、五尺三寸以上
木工、鍛冶、厨夫 五尺二寸以上

第二條 検査合格者ハ左ニ掲クル順序ニ從ヒ現役兵ニ編入シ其要員ニ超過スル者ハ豫備徵員ニ編入セラル

一 甲種合格ニシテ徵兵令第二十八條(本書第五章第九條)ニ當ル者二人以上ナル
キハ年齢ノ順序 同年齡ノ者ハニ從フ第二項第三項第五項第六項亦同シ
誕生月日ノ順

二 甲種合格ニシテ徵兵令第二十一條(本書第六章第七條)ニ當リ袖籤ノ法ニ依ラ
スシテ徵集セラル、者

三 甲種合格ニシテ現役志願ノ者

- 四 甲種合格ニシテ抽籤ノ者番号ノ順序ニ從フ
 - 五 乙種合格ニシテ徵兵令第廿八條ニ當ル者(本條第一項註)
 - 六 乙種合格ニシテ徵兵令第廿一條(本條第二項註)ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集セラル者
 - 七 乙種合格ニシテ抽籤ノ者
- 第三條 現役當籤者ハ入營前海軍志願兵徵募規則ニ依リ志願スルヲ得ス又之レニ反シ志願兵採用證書下付ノ者ハ徵兵ニ徵募セラル、ヲ得サルモノトス
- 第四條 各大隊區ノ現役兵入隊スヘキ隊号左表ノ如シ但シ某大隊區ノ要兵不足スル時ハ同旅管内他ノ大隊區ヨリ補充セラル、モノトス
- 警備隊區ノ兵員ハ其區ヨリ徵集セラル
- 海軍兵員ハ各師管内沿海及ヒ嶋嶼ヲ包括スル大隊區ヨリ徵集セラル

近衛 歩兵聯隊号 騎兵大隊号	近衛 砲兵聯隊号 工兵大隊号	師團 砲兵聯隊号 他ノ大隊号	師團歩兵聯隊	大隊	區	旅管號
野戰砲兵	騎兵	野戰砲兵	一	麻布横濱	高崎	長野
			十五			

步兵 一	步兵 二	步兵 三	步兵 四	工兵
騎 野戰砲兵 工重兵 輜重兵	騎 野戰砲兵 工重兵 輜重兵	騎 野戰砲兵 工重兵 輜重兵	騎 野戰砲兵 工重兵 輜重兵	要塞砲兵 工重兵 輜重兵
四	六	七	九	二
仙臺 新發田 青森 盛岡	名古屋 豊橋 金澤 岐阜	大坂 大津 姫路 神戸	廣島 尾道 九龍 松山	佐倉 本郷 宇都宮
三	五	七	九	二

騎兵	野戰砲兵六	二十三	大分	鹿兒島
	要塞砲兵四	十四	小倉	佐賀
	工兵六	二十四	福岡	長崎
	輜重兵六			十二

第五條 現役兵ニ當籤シ新兵證書ヲ受領シタル後其裏面ニ記載ノ事故ヲ生スル時ハ必ス届出ヘシ

新兵證書雛形

近衛海軍ニ在テハ
一 現役兵ニ
一 徵募スル
一 右海軍
一 現役兵ニ
一 徵募スル
一 右海軍
一 現役兵ニ
一 徵募スル
一 右海軍
一 現役兵ニ
一 徵募スル
一 右海軍

凡曲尺四寸表

凡曲尺六寸

右現役兵ニ徵募シ何兵第何聯(大)隊ニ編入ス

第何旅管何大隊區
何府縣郡區町村何番地
何兵第何番 姓 名

明治何年月日 第何旅管徵兵署 印

新兵入營前ノ心得

一 新兵入營期日ハ十二月一日トス
一 警備隊諸兵ノ入營期限ハ第一次ハ十二月一日第二次ハ六月一日トス
一 輜重輸卒ノ入營期限ハ第一次ハ十二月一日第二次ハ四月一日第三次ハ八月一日トス
一 入營前轉籍スル者ハ豫メ其由ヲ監視區長ヘ届出テ監視區ヲ異ニスルトキハ轉籍後七日以内更ニ轉籍地ノ監視區長ニ届出可シ其届出ヲ爲サルハ疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ入營シ難キ者ハ書面ヲ以テ入營當日迄ニ監視區長ヲ經テ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ届出可シ其届書ニハ市町村長ノ與書證印ヲ受ク可キモノトス其届出ヲ爲サルトキハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處セラル
一 入營前寄留若クハ七日以上ノ旅行ヲ爲サントスルモノハ監視區長ニ届出可シ其届出ヲ爲サル者ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處セラル
一 故ナク入營ノ期ニ後レ平時ニ在テハ十日ヲ過クル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮ニ戰時ニ在テハ五日ヲ過クル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處セラル
一 此證書ハ入營迄事故ニヨリ其年入營セ其効ヲ有スルモノトス
一 此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ新ニ下渡ヲ島司又ハ郡市長ニ請求スベシ

養子縁分
家離縁
等モ轉内
籍ノ内
ナリ
疾病傷痍
疾ノハ診醫
師ノ診醫
斷書ヲ
添フベ
シ裏

第六條 疾病犯罪其他ノ事故ニ由リ十二月一日ニ入營シ難キモノハ同月三十一日迄ニ入營スルモノトス

第七條 警備隊新兵ニシテ前條ノ事故ニ由リ十二月一日ニ入營シ難キモノハ同月十日迄ニ、六月一日ニ入營シ難キモノハ同月十日迄ニ入營スルモノトス但シ第一期ニ入營セサルモノハ第二期ニ入營スルモノトス

第八條 輜重輸卒ニシテ前條ノ事故アルモノハ第一期ハ第二期ニ入營セシメ其補缺ハ次期入營スヘキ者ヲ繰上ケ其月ノ十日迄ニ入營セシメラル但第二期ニ在テハ豫備徵員ヲ以テ補缺スルモノトス

第九條 疾病又ハ犯罪逃亡失踪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キモノハ翌年ニ於テ檢査ナクシテ徵集セラル、モノトス

疾病(傷痕)(何々)ニ付入營難致届

何府縣郡區町村何番地
族籍職業

何兵第何番

姓 名

右私儀來ル十二月一日入營可仕筈ニ候處別紙醫師診斷書之通現今何病ニ罹リ(何傷ヲ受ケ)治療中(何々等)ニシテ同日入營難仕候間此段及御届候也

明治何年月日

右 姓 名 印

何大隊區司令官

姓名 殿

何警隊區司令官

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何市町村長 姓 名 印

轉籍御届

何府縣郡區町村何番地

舊住地
監視區
長へ差
出スへ
キ分

族籍職業

何兵第何番

姓

名

右私儀是迄前書之地ニ住居罷在候處今般都合ニヨリ何府(縣)何市(郡)
(區)(町)(村)何番地へ轉籍仕候間別紙新兵証書相添此段及御届候也

明治何年月日

右

姓

名印

何監視區長姓 名 殿

轉籍御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何兵第何番

姓

名

右私儀是迄何府(縣)何市(郡)區(町)村何番地ニ住居罷在候處今般都合

監視區
外ニ轉
籍ノ片
新住居
地監視
區長ニ
差出ス
へキ分

ニヨリ前書肩書ノ地ニ轉籍去ル何日到着仕候間此段及御届候也

右

姓

名印

明治何年月日

何監視區長姓 名 殿

寄留(旅行)御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何兵第何番

姓

名

右私儀何々ノ都合ニ依リ今般何府縣郡區市町村何番地(某方)へ寄留何
月日ヨリ何地方へ何日間旅行仕候間此段及御届候也

右

姓

名印

明治何年月日

何監視區長姓 名 殿

舊住地
監視區
長ニ差
出スヘ
キ分
新住地
監視區
長ニ到
着届ラ
シ出ス
ベ

離縁(養子)(分家)(何々等)御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何兵第何番

姓

名

右私儀今般親戚熟談之上(養家離縁生家何府縣郡區町村何番地士族(平民)何某何男(兄)(弟)ニ復籍(何府縣郡區町村何番地士族(平民)何某養子ニ相成)何番地へ分家仕候間別紙新兵證書并ニ新戶籍寫壹葉相添此段及御届候也

明治何年月日

右

姓

名印

何監視區長姓名殿

第十條 新兵入營スル時其家族自活シ能ハサル確證アル者ハ本書第六章第五條ノ

願書式ニ準シ旅團長ニ願出可シ

第十一條 入營ニ際シ父母ノ疾病危篤又ハ死亡ニ會シタル時ハ入營延期ヲ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ願出ルコトヲ得ル

父(母)疾病危篤(死亡)ニ付入營延期願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何兵第何番

姓

名

右私儀來ル十二月一日入營可仕筈之處父(母)(疾病危篤ニシテ快復ノ程モ無覺束場合ト相成然ルニ親子ノ情トシテ打捨テ入營難仕)(死亡致佛事其他私自身ノ外世話可致親戚トテモ無之)候間何卒何日間(十四日)以內ニ入營延期御許可被成下度別紙醫師診察書(市町村ノ死亡證明書)相添此段奉願候也

此願書
ハ各自
ヨリ直
チニ大
隊區司
令官又
ハ警備
隊區司
令官ニ
差出ス
ベシ

明治何年月日
 右
 姓
 名
 印
 何大隊
 區司令官姓名殿
 何警備隊

第八章 豫備徵員中ノ心得

第一條 抽籤番号ノ順序ニ從ヒ毎年所要ノ現役兵員ニ超過スル壯丁ハ一ケ年間十二日ヨリ豫備徵員トシ戰時若クハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルハ其年徵集ノ兵員欲起算スクルトキ之レヲ徵集セラル

第二條 豫備徵員証書ハ左ノ如シ
 豫備徵員証書離形

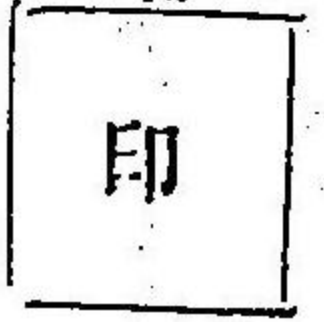
凡曲尺四寸表

第旅管第大隊區
 何府縣郡區町村何番地
 何兵第何番
 姓
 名

右豫備徵員ニ徵募ス

明治何年月日

第何旅管徵兵署



凡曲尺六寸

豫備徵員ノ心得

一 豫備徵員ハ戰時若クハ事變ニ際シ兵員ヲ要スルトキ又ハ其年ノ新兵欲員ヲ生シタルトキ抽籤番号ノ順序ニ從ヒ徵集セラル、モノトス但シ新兵欲員ノ爲メ徵集セントスルハ十二月一日ヨリ同三十一日迄ノ間トス

一 豫備徵員轉籍セントスルハ監視區長ニ届出テ監視區長ヲ異ニスルトキハ轉籍後十四日以内更ニ轉籍地ノ監視區長ニ届出可シ其届出ヲ爲サハルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ料ニ處セラル、モノトス

一 豫備徵員ハ徵募年ノ十二月三十一日迄ハ監視區長ノ認可ヲ受ケスシテ寄留若クハ七日以上ノ旅行ヲ爲スコトヲ得ス其以後ニ在テハ往先ヲ詳ニ寄監視區長ニ届出シ其復歸シタルトキ亦同シ以上ノ成規ニ違背シタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ料ニ處セラル、モノトス

一 故ナク入營ノ期ニ後レ平時ニ在テハ五日ヲ過クル者ニ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處セラル、モノトス

- 一 新兵ノ補欲トシテ徵集ヲ命セラレサルモノハ徵募年ノ十二月一日ヨリ起算シ滿一ケ年ノ後ハ別ニ命ナクシテ國民兵ニ編入セラレタルモノトス
- 一 此証書ハ國民兵役ヲ終ル迄其効ヲ有スルモノトス
- 一 此証書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ新ニ下渡ヲ島司又ハ郡市長ニ請求スヘシ

近衛海軍ニ在テハ表面ノ右以下ヲ「右近衛豫備徵員ニ徵募ス」

「右海軍豫備徵員ニ徵募ス」ト記スモノトス

第三條 豫備徵員ハ現役ヲ志願スルコトヲ得ス

第九章 訴願者心得

第一條 壯丁若クハ其家族ニ於テ徵兵官ノ裁決ニ服セス訴願スルコトヲ得ル場合大略左ノ如シ

- 一 分家又ハ絶家廢家再興ニアラサルモノニシテ徵集ニ應スル時ハ其家族自活シ能ハサルノ確證アリ且正當ノ手續ヲ以テ徵集延期ヲ請願スルモ許可セラレサル時
- 一 徵集ニ應スル時ハ其家族自活シ能ハサルノ故ヲ以テ徵集延期トナリ其事故三ケ年ヲ過ルモ仍ホ止マサルニ因テ國民兵役ニ服セシメラルヘキノ成規アルニモ拘ハラズ國民兵編入願ヲ許可セラレサル時

一 自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタルニアラサルニ事故ヲ作爲シタルモノト認め徵集延期願ヲ許可セラレサル時

- 一 滿十七歳以上二十六歳以下ニシテ官立小學校及ヒ櫛科等ノ別科ヲ除ク府縣立師範學校中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認めタル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校ニ校名ハニア在校シ年齢未タ二十六歳ヲ過キサルニ徵集猶豫願ヲ許可セラレサル時
- 一 前項學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試験委員ノ試験ニ及第シ一年志願兵ヲ志願シ又ハ滿十七歳以上二十六歳以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業證書ヲ所持シ官立公立小學校ノ教職ニ在ルカ又ハ學術修業ノ爲メ外國ニ寄留ノ者歸朝シ陸軍試験委員ノ試験ニ及第シ一年志願兵ヲ志願シタルニモ拘ハラズ抽籤法ニ依ラスシテ尋常兵ニ徵集セラレタル時
- 一 學術修業ノ爲メ外國ニ寄留スルニモ拘ハラズ徵集猶豫願ヲ許可セラレサル時
- 一 兵役ヲ免カレンカ爲メニ身体ヲ毀傷シタルニアラス疾病ヲ作爲シタルニアラス詐僞ノ所爲ヲ用ヒタルニアラス逃亡セス潜匿セス正當ノ事故ナク身体ノ検査ヲ

徴兵署閉
鎖後ナレ
ハ地方徴
兵官ニ差
出スベシ
二十日以
内トハ裁
決ヲ承知
シタル日
ヨリ二十
日以内ヲ
云フ
保証者ハ
合格者ノ
戸主ニ限
ルニアラ
ス又保證
スヘキ者
若シ同徴
募内ニ三
人ナキハ
ハ其事由
書ヲ附シ
二人又ハ
一人ノ保

受ケサルニアラサルニ抽籤法ニ依ラスシテ徴集セラレタル時
第二條 大隊區徴兵官又ハ警備隊區徴兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ旅管徴兵官ニ旅
管徴兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ師管徴兵官ニ師管徴兵官ノ裁決ニ不服アルトキ
ハ總理徴兵官ニ訴願スルコトヲ得ル但シ訴願ノ爲メニ裁決ノ執行ヲ停止セラレサ
ルモノトス
本條ノ訴願ハ裁決書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之レヲ爲ス可シ其期日ヲ過ク
ルモノハ受理セラレサルモノトス
第三條 徴兵管ノ裁決ニ對シ訴願スルモノハ其裁決ヲ爲シタル徴兵官ニ其由ヲ届出
可シ
第四條 訴願ヲ爲サントスル者ハ其願書ニ同徴募區内其年徴集ニ應スヘキ壯丁ノ戸
主三名ノ保證書ヲ添フ可シ
第五條 徴兵官ノ裁決ニ對シテハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許サレス
第六條 訴願ノ一例左ノ如シ

訴願書

證書ニテ
訴願スル
ヲ得ル

何府縣郡區町村何番地
族籍職業

姓 名

何年月日生

右私儀本年徴兵適齡ニ候處父ハ過ル何年月日ニ死亡致シ母ハ何年月日
ヨリ癡疾ノ身ト相成到底自活シ能ハサルハ勿論ニシテ私ヲ要スルニ非
ラサレハ他ニ養育ノ途無之ニモ拘ハラス(若干)ノ不動産アリ之ヨリ生
スル利益(若干)アルノ故ヲ以テ徴集延期願ヲ許可セラレスト雖モ右不
動産タル名ハ私ノ所有ニ屬スルモ其實ハ皆ナ負財ノ低當トナリ居ルモ
ノナレハ之レヨリ生スル利益ハ負財ノ利足ヲ仕拂フニ足ラス且若シ不
動産ヲ賣却シ負財ヲ償還スルトスルモ之カ爲メ剩ス所ノ金員ハ(若干)
ニ過キス此金員ヲ以テ私現役中母某ヲ養育スルヲ出來ヘカラサルハ際
然タル事實ナリトス况ンヤ前陳ノ如キ癡疾者ナルニ由テ看護人ナケレ

ハ一日モ生活ヲ能ハサルコトハ隣佑ノ皆能ク承知スル所メリ然ルニ何大
隊區徵兵官カ名義上若干ノ不動産アルノ故ヲ以テ徵集延期願ヲ許可セ
ラレサルハ事實ヲ穿テサル裁決ト存候間更ニ至當ノ御裁決被成下度別
紙保証書相添此段及訴願候也

明治何年月日
右
姓 名 印
第何師管徵兵官姓名 殿

保証書

何府縣郡區町村番地
族籍職業
姓 名
何年月日生

右父ハ何年月日死亡シ母ハ癱疾ノ身ニシテ到底自活シ能ハサルノミナ
ラス多小ノ不動産アルモ皆テ負財ノ低當トナリ不動産ヨリ生スル利益
ハ負財ノ利足ヲ償フニ足ラサルハ私共ノ熟知スル所ニ有之就テハ右本
人ヲ要セサレハ母某ヲ養育スル能ハサル事實保証仕候也

何府縣郡區町村何番地族籍職業
本年壯丁何某父(兄)

姓 名 印
全 全
姓 名 印
全 全
姓 名 印

御裁決ニ服スル能ハス何師管徴兵官へ
訴願仕候ニ付御届

何府縣郡區町村何番地
族籍職業

姓 名

何年月日生

右私儀本年御徴集ニ應スル時ハ母某自活シ能ハサルニ付徴集延期ノ義
請願仕候處何月日ヲ以テ請願御許可難相成旨御裁決ニ候得共實際私ヲ
要セサレハ母某養育ノ途無之候ニ付御裁決ニ服シ難ク候間師管徴兵官
へ訴願仕候依テ此段及御届候也

明治何年月日

右

姓

名 印

第何旅管徴兵官姓 名 殿

第十章 陸軍現役入營中ノ心得

第一條 入營即日讀法式ヲ行ヒ固ク陸軍ノ法規ヲ遵守スヘキヲ宣誓スルモノトス
讀法

兵隊ハ皇威ヲ發揚シ國家ヲ保護スル爲メニ設ケ置カル、モノナレハ此兵員ニ加
ハル者ハ堅ク左ノ條件ヲ守リ違背ス可カラス

第一條 誠心ヲ本トシ忠節ヲ尽シ不信不忠ノ所爲アルヘカラサル事

第二條 長上ニ敬禮ヲ盡シ等輩ニ信義ヲ致シ粗暴倨傲ノ所爲アルヘカラサル事

第三條 長上ノ命令ハ其事ノ如何ヲ問ハス直チニ之レニ服從シ抗抵干犯ノ所爲
アルヘカラサル事

第四條 膽勇ヲ尙ヒ軍務ニ勉勵シ恐怯柔懦ノ所爲アルヘカラサル事

第五條 血氣ノ小勇ニ誇リ爭鬪ヲ好ミ他人ヲ侮慢シ世人厭忌ヲ來ス等ノ所爲ア
ルヘカラサル事

第六條 道徳ヲ脩メ質素ヲ主トシ浮華文弱等ニ流ル、ノ所爲アルヘカラサル事

第七條 名譽ヲ尙トヒ廉耻ヲ重シ賤劣貪汚ノ所爲アルヘカラサル事

以上掲クル所ノ外法律規則ニ違犯シ罪ヲ國家ニ得ルニ至テハ父祖ヲ辱カシメ家聲ヲ汚シ醜ヲ後世ニ遺ス獨リ其身現在ノ耻辱ヲミナラサルナリ況ンヤ重罪ノ如キハ各人天賦ノ公權ヲ剝奪セラレ世ニ立チ人ニ接スルモ総テ對等權利ヲ得サルニ至ルニ於テヲヤ名譽ヲ尙ヒ廉耻ヲ重ンスルノ軍人ニ在テハ殊ニ誠慎ヲ加ヘサルヘカラス就中陸軍刑法ハ軍隊ノ害ヲ爲ス者ヲ懲ス爲メニ特ニ設ケラル、モノタルヲ以テ其刑亦頗ル嚴ナリ軍人ニシテ之レヲ犯セハ宿ニ本分ヲ誤リ軍隊ノ安寧ヲ害スルノミナラス遂ニ世人ノ信用ヲ損シ陸軍ノ榮譽ヲ汚ス等其責更ニ重シ平素自カラ戒飾シ決シテ違犯スヘカラサルモノトス

誓文

今般御讀聞相成候讀法ノ條々堅ク相守リ誓テ違背仕間敷候事
右宜誓如件

第二條 聯隊(大隊)ハ忠勇ト名譽トヲ以テ充タサレタル一個ノ社會ニシテ中隊(小隊)ハ和氣藹然タル一家ノ如ク聯隊長(大隊長)實ニ之レカ主宰者タリ而シテ中隊長(小隊長)ハ家嚴タリ戰友ハ兄弟タリト心得ベシ若シ誠忠ト親睦トヲ忘ル、時

ハ一刻モ軍隊ニ服役スルコト能ハサルナリ

第三條 現役中殊ニ勤務ニ熟シ品行方正ナルモノハ二ヶ年以上服役ノ後歸休ヲ命セラル、トアリ

但シ警備隊諸兵ニ在テハ八ヶ月以上在營シタルモノハ歸休ヲ命セラル、トアリ
第四條 一年以上現役ニ服シ品行方正ニシテ左ノ三項ニ相當スルモノハ上等兵ニ撰擧セラル、トヲ得ル

- 一 上等兵ノ職務ヲ行フニ相當セル學術アルモノ
- 二 軍事上上等兵ノ職務ニ適スル能力アルモノ
- 三 諸技藝凡テ兵卒ノ上位ヲ占ムルモノ

第五條 篤實温厚讀書算筆アル者ニシテ看護手ニ適當シ入營ノ日ヨリ概テ六ヶ月軍事上ノ教育ヲ受ケ更ニ六ヶ月間看護學ヲ修メタルモノヲ以テ看護手ニ撰擧セラル
第六條 各兵科ノ上等兵ニシテ嘗テ縫工卒靴工卒ノ勤務ニ服シ入隊ノ日ヨリ起算シ二年以上現役ニ服シ再服ヲ許可サレタル者ハ縫工下長靴工下長ニ任用セラル、トヲ得ル

第七條 二ヶ年以上現役ニ服シ再服役ヲ許可セラレタル上等兵ハ二等軍曹ニ任用セラル、トヲ得ル

第八條 看護手ニシテ二ヶ年以上現役ニ服シ再服役ヲ許可セラレタル者ハ三等看護長ニ任用セララル、トヲ得ル

第九條 二ヶ年以上現役ニ服シタル上等兵ニシテ志願ノ者ハ六ヶ月間會計事務ヲ見習フノ後三等書記ニ任用セララル、トヲ得ル

第十條 上等兵中技能優等ニシテ且品行方正ナルモノハ現役満期ノ際下士ニ任シテ豫備役ニ編入シ或ハ下士適任証書ヲ附與セララル、トアリ

第十一條 現役中品行方正勤務勉勵學術技藝ニ熟達シタル者ハ退營ノ際善行證書ヲ附與セララル

第十二條 現役十一ヶ年以上勤績シタルモノ又ハ平時戰時共公務ノ爲メニ負傷シ其重キモノハ終身恩給ヲ賜フ

第十三條 現役兵本人ヲ要スルニ非サレハ其家族自活シ能ハサル事故ヲ生シタル時ハ家族ノ者ヨリ現役兵免除願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ大隊

區司令官又ハ警備隊區司令官及ヒ旅團長ヲ經テ近衛都督又ハ師團長ヘ差出スベシ

一 疾病ナラハ醫師ノ診斷書其他ハ證明トナルヘキ書類

一 同徵募區内現役兵ノ戸主二名ノ保證書

一 市町村長ノ調査シタル戸籍寫、職業ノ現狀書、諸般ノ收入金調、財産調、國

稅地方稅町村稅ノ納額調(種類ヲ區分ス)

一 官ノ救助ヲ受ケタル金額及ヒ書類ノ寫

現役免除願

何府縣郡區町村何番地族籍職業

戸主(某何男)(某弟)

明治何年徵兵
何兵第何番

何兵何等卒

姓

名

何年月日生

右者頭書之通當籤何年月日何兵第何聯隊何第大隊第何中隊へ入營爾後
服役罷在候處私儀何年月日ヨリ別紙醫師診斷書之通り不治之病症ニ

罹リ(癡疾ノ身ト相成)(何々)且ツ親戚ノ扶助スヘキモノ無之候ニ付一家忽チ糊口ニ差支右某ヲ要スルニ非ラサレハ到底活計相立不申事情無據次第ニ御座候間現役御免除被成下度別紙證據書類相添此段奉願候也

右某父(母)(何々)

明治何年月日

姓 名 印

第何師團長(近衛都督)爵姓名殿

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何市町村長 姓 名 印

第十四條 現役中父母ノ病氣又ハ死亡等ノ爲メ歸郷ヲ要スル時ハ戶主或ハ親族ヨリ左ノ書式ニ準シ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ現役兵所屬隊長ニ願出ヘシ

現役兵歸省願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

明治何年徵兵何兵第何番

姓 名

右ハ現今何兵第何聯隊第何大隊第何中隊ニ服役罷在候處(父某)(母某)儀別紙診斷書之通危篤ノ症ニ罹リ到底全治ノ程モ無覺束候ニ付テハ生前今一度悴某ニ面會仕度旨日夜希望罷在候間往復外何日間歸省御許可被成下度此段奉願上候也

某兄(弟)(親戚)

明治何年月日

姓 名 印

近衛何兵第何聯隊(何大隊)

何兵第何聯隊(何大隊) 長姓名殿

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何市町村長 姓 名 印

第十四條 歸省中若シ疾病ニ罹リ歸營致シ難キ時ハ歸營延期願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ市町村長ノ奧書証印ヲ受テ所屬聯隊長ニ願出ヘシ

歸營延期願

所屬隊号

何兵何等卒(上等兵) 姓

名

右ハ父(母)病氣ニ付看護ノ爲メ往復外何日間歸省御許可相成即歸省看護仕候處過ル何月日ヨリ不圖何々病ニ罹リ別紙診斷書之通ニシテ到底旅行難仕候間何月日ヨリ向何日間歸營延期ノ義御許可被成下度此段奉願候也

某兄(弟)(親戚)

明治何年月日

姓

名 印

所屬隊号長姓 名 殿

前書之通相違無之候也

明治年月日

何市町村長

姓

名 印

第十五條 歸營途中發病又ハ船待川留雪支等ニテ不得已休暇日數ヲ超過スル場合ニ在テハ地方醫師ノ診斷書或ハ市町村長ノ証明書ヲ請ヒ歸營ノ上差出スベシ

- 第十六條 入營中左ノ事故アル時ハ必ス直ニ所屬隊ニ届出ヘシ
- 一 養子、分家、相續、戸主、變換、離縁又ハ絶家、廢家再興
- 一 子、女、出生又ハ妻、子、女ノ死亡、離縁、養子女、復籍
- 一 同戶籍内ノ兄弟姉妹ノ出生、死亡、婚嫁、離縁、養子、祖父母、父母ノ死亡
- 一 轉籍又ハ住所移轉
- 一 改姓名
- 一 族籍ノ變更

但シ養子、分家、離縁ニ在テハ新戶籍寫ヲ添フヘシ

第十一章 歸休兵并ニ豫備役、後備役兵服役中ノ心得

此ノ届出
 ヲ爲サハ
 ル者ハ五
 錢以上一
 圓九十五
 錢以下ノ
 科以下ノ
 料ニ又
 セラレバ
 通報人正
 當ノ理由
 ナク召集
 ノ命ヲ通
 報セス若
 クハ通報
 ヲ遅延シ
 ヲル者ハ
 一日以上
 十日以下
 ノ拘留ニ
 處セラレ
 ル

第一條 歸休兵ハ退營後七日(豫備役、後備役兵ハ十四日)以内ニ衛戍地ヲ出發シ一日行程十里詰ヨリ掛カラサル日數間ニ歸郷シ着後七日(豫備、後備ハ十四日)以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出ヘシ
 退營後衛戍地若クハ其他ノ地ニ八日(豫備、後備ハ十五日)以上滞在若クハ寄留セント欲スルトキハ本條ノ出發期以内ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之レヲ通報スヘキ者ヲ定メ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ但シ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲ス可シ

歸郷御届

何府縣郡區町村何番地
 族籍職業
 明治何年月日何兵第何聯隊へ入營
 明治何年月日歸休(豫備役)(後備役)姓
 右私儀今般頭書之通歸休(豫備役編入)被申付何月日歸郷仕候間此段及

御届候也

明治何年月日
 監視區長 姓名 殿
 右 姓 名 印

滞在(寄留)御届

府縣郡區町村何番地
 族籍職業
 明治何年月日何兵第何聯隊へ入營
 全 年何月日歸休(豫備役)(後備役)姓
 右私儀今般頭書之通歸休(豫備役編入)被申付候ニ就テハ御定期ノ日數内ニ歸郷可仕ノ處何府縣郡區市町村何番地(何某)ニ寄留(滞在)致候間御召集ノ命アルトキノ通報人ヲ左ノ通り相定メ此段及御届候也

通報人
何府縣郡區町村何番地
族籍職業

姓 名

明治何年月日 右 姓 名 印

監視區長 姓名 殿

第三條 歸休兵并ニ豫備役、後備役ノ者傷痍若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト
思惟スル時ハ陸軍醫官ノ診斷書若クハ醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ監視區
長ニ届出ベシ

傷痍(疾病)ニ由リ永久服役ニ難堪御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何年徵兵何兵第何番 豫(後)備役 兵何等卒 姓名

右私儀何年月日何々之際何所ヲ負傷シ遂ニ一肢ノ用ヲ失フニ至リ(何
年月日頃ヨリ何病ニ罹リ遂ニ不治ノ病ニ陥リ)別紙陸軍醫官診斷書(醫
師病況書)之通永久服役ニ堪ヘスト思料仕候間此段及御届候也

明治何年月日 右 姓名 名 印

何監視區長 姓名 殿

第三條 歸休兵并ニ豫備、後備兵々籍上(本書第十章第
十六條各項)異動ヲ生シタル時ハ歸休兵
ハ七日以内豫備、後備兵ハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出ベシ但シ
監視區外ニ戶籍ヲ轉換スルトキハ新舊所管ノ監視區長ニ届出ベシ

轉籍御届

何府縣郡區町村何番地
族籍職業某何男(兄)(弟)

戶籍轉換
ノ時ハ新
住地市町
村長ヲ經
テ監視區
長ニ届出
ベシ又此
ハ五錢以
上ハ圓九

十五錢以下ノ料
ルニ處セラ

舊住地監
視區長ハ
ノ届書ニ
ハ姓名ノ
肩ニ舊住
地番地ヲ
記スヘシ

本文ノ外
養子離縁
等モ大約
此ノ式ニ
準シ届出
ヘシ

何年徴兵第何番

豫備(後備) 歸休兵

何等卒姓

名

右私儀從來何府縣郡區町村何番地ニ(肩書ノ地ニ)住居仕居候處今般前書之地ニ轉籍(何府縣郡區町村何番地ニ轉籍)仕候間此段及御届候也

明治何年月日

右

姓

名印

何監視區長姓名殿

第四條 各種ノ召集アルニ方リ召集ニ應スヘキ歸休兵並ニ豫備後備役兵員疾病犯罪又ハ失踪逃亡等ニテ召集ニ應シ難キトキハ本人又ハ親族ヨリ疾病ノ者ハ陸軍醫官(陸軍醫官不在ノ地)ノ診斷書ヲ添ヘ其他ノ事故ハ其事由書ニ憲兵部(憲兵部ノ設ハ最寄地方ノ醫師)ノ最寄警察署若クハ巡查派出所ノ証認ヲ受ケ市町村長ノ奥書認印ヲ以テ監視區長ニ届出ヘシ但シ充員召集及ヒ後備軍召集ニ在テハ其令狀ハ本人又ハ親族ヨリ直ニ市町村長返付スヘシ但シ点呼召集ノ期ニ臨ミ本文ノ事故ニテ參會セサル者ノ手牒ハ本文届書ト共ニ監

視區長ニ差出スヘシ

何々召集ニ應シ難キ御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何年徴兵何兵第何番

豫備(後)備役 歸休兵

何兵何等卒姓

名

右者別紙陸軍醫官診斷書ノ適當今何々病ニ罹リ居リ(別紙事由書ノ通リ當今拘留中ニテ)(何々)御召集ニ難應候間此段及御届候也

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

右某父(兄)(何々)

姓

名印

明治何年月日

何監視區長姓名殿

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何市町村長 姓

名 印

第五條 前條ノ疾病快癒又ハ事故止ミタルキハ其旨ヲ前條ノ手續ニ據リ監視區長ニ届出テ充員召集、後備軍召集ニ在テハ令狀并ニ旅費金ヲ受領シ直ニ召集地ニ向テ發程シ演習召集ニ在テハ若シ演習半迄ニ召集地ニ參着シ難キキハ本條ノ届出ヲ爲シ命ヲ待ツベシ而シテ出頭ニ及ハサル達ヲ受ケタルキハ演習令狀ヲ郡市長ニ返付スベシ

第六條 豫備、後備、兵卒中ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫若クハ簡閱点呼免除ヲ願ハント欲スルキハ其願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ監視區長ヲ經テ大隊區司令官ニ差出スヘシ

勤務演習召集御猶豫(点呼免除)願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何年徵兵何兵第何番 豫(後)備役 休兵何兵何等卒姓

名

右私儀來ル何月日ヨリ演習召集(点呼召集)之儀御達相成候旨通報人ヨリ申來候處兼テ御届仕置候通何府縣郡區町村へ旅行(寄留)中ニ有之然ルニ當今何鐵道線路損破瀛車不通ト相成候(其他其時ノ事故)ニ付晝夜兼行致候共到底期日迄ニ歸郷ノ見込無之實際不得已次第ニ御座候間(点呼御免除)來ル何月日迄演習召集御猶豫被成下度此段奉願候也

明治何年月日

右

姓 名 印

何大隊區司令官 姓名 殿

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何市町村長

姓

名 印

第七條 歸休兵ハ七日以上豫備、後備役兵ハ十四日以上ノ旅行、或ハ寄留セントスルキハ召集ノ命アルキ之レヲ通報スヘキ者ヲ定メ市町村長ヲ經テ監視區ニ届出可シ但シ歸郷シタルトキハ歸休兵ハ七日以内豫備役後備役兵ハ十四日以内ニ市町村

此ノ届出
ヲ爲サハ
ルモノハ
五錢以上
一圓九十
五錢以下

ノ科料ニ
 又通報人
 正當ノ理
 由ナク召
 集ノ命ヲ
 通報セス
 若クハ通
 報ヲ遅延
 シタル者
 ハ十日以
 上ノ拘留
 内ノ拘留
 ニ處ラル
 歸郷ノ時
 ノ届書或
 ハ大約本
 文ニ準シ
 認ムベシ
 監視區内
 ノ寄留ハ
 願ヲ要セ
 ス其地ニ
 於テ点呼

ヲ受ケシ
 メラル
 但シ書ノ
 届出ヲ爲
 サハルモ
 ノハ五錢
 以上一圓
 以下五錢
 以下ノ科
 料ニ處セ

長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

旅行(寄留)御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何年徴兵何兵第何番豫(後)備役歸休兵何兵何等卒姓 名

右私儀今般商用ノ爲メ(學術修業ノ爲メ)何府縣郡區町村何番地(何某)
 ~大凡何月間旅行(寄留)仕候間此段及御届候也

明治何年月日

右

姓 名 印

何監視區長 姓 名 殿

第八條 豫備、後備役兵卒ニシテ監視區外ニ寄留スルモノハ願ニヨリ其地ニ於テ簡
 閱点呼ヲ受クルコトヲ得ル

一ヶ年以上師管(歩兵ニ在テハ旅管)外ニ寄留スル者ハ願ニヨリ寄留地師管又ハ旅管ニ於テ
 勤務演習ヲ爲スコトヲ得

前項ニ依リ願出ル者ハ願書ニ本籍市町村長ノ奥印証書ヲ受ケ監視區長ヲ經テ大隊
 區司令官ニ差出ス可シ但シ許可ヲ受ケタル日ハ寄留地到着後(寄留後出願ノ者)三
 日以内ニ其由ヲ寄留地ノ監視區長ニ届出可シ

寄留地ニ於テ点呼相受度(勤務演習ニ應度)願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何年徴兵何兵第何番豫(後)備役歸休兵何兵何等卒姓 名

右私儀今般何府縣郡區町村何番地へ何ヶ年間寄留仕候ニ付テハ同地ニ
 於テ簡閱点呼御執行被成下度(勤務演習ニ應シ度)此段奉願候也

明治何年月日

右

姓 名 印

何大隊區司令官姓 名 殿
前書之通相違無之候也

明治何年月日

何市町村長 姓

名 印

寄留地ニ於テ簡点呼(勤務演習)應召ノ件
願濟御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何府縣郡區町村何番地
何年徵兵何兵第何番

豫(後)備役 歸 休 兵 何兵何等卒姓

名

右私儀來ル何年何月日迄頭書ノ地ニ寄留罷在候ニ就而ハ勤務演習(簡
閱点呼)御召集ノ時ハ寄留地ニ於テ應召ノ義本籍大隊區司令官ノ許可
ヲ得(去月日到着仕)候間此段及御届候也

明治何年月日

右

姓

名 印

何監視區長姓 名 殿

第九條 歸休兵及ヒ豫備、後備役兵卒死亡又ハ失踪シタル者アルキハ其親族ヨリ歸
休兵ニ在テハ七日以内豫備、後備役兵卒ニ在テハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監
視區長ニ届出可シ失踪ノ者歸郷シタルキ若クハ踪跡ヲ知得シタルキ亦同シ

死亡(失踪)御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何年徵兵何兵第何番
豫(後)備後 歸 休 兵 何兵何等卒姓

名

右去何月日何病ニ罹リ死亡致(失踪致)候間此段及御届候也

何府縣郡區町村何番地

族籍職業父(母)(親戚)

明治何年月日 姓 名 印
何監視區長 姓 名 殿

第十條 歸休兵並ニ豫備、後備役兵卒重罪輕罪(罰金ヲ除ク)刑ニ處セラレタルハ刑名及ヒ刑期ヲ記シ其親族ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

處 刑 御 届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何年徵兵何兵第何番 歸(後)備役 兵何兵何等卒 姓 名
一 刑名何々

一 刑期 自何年月日 何ヶ年(月)間 至何年月日
右何罪ニ依リ去ル何月日前記ノ通告相成候間此段及御届候也

何府縣郡區町村何番地

族籍職業父(兄)(弟)

明治何年月日 姓 名 印
何監視區長 姓 名 殿

第十一條 豫備、後備役兵卒正當ノ理由ナク簡閱点呼ニ會セサル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處セララル、モノトス

第十二條 歸休兵ハ外國ニ旅行又ハ寄留スルヲ得ス

但シ對島警備隊區ニ在テハ朝鮮國釜山ニ旅行又ハ寄留スルヲ得此場合ニ於テハ内國ニ寄留若クハ旅行ノ例ニ依ルベシ若シ違フモノアルハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處セララル

第十三條 豫備、後備役兵卒ニシテ市町村長、助役、収入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員トナリタルトキ並ニ之レヲ罷メタルハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

第一項ニ違背シタルモノハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處セララル
届出ヲ爲サハ五錢以上一圓九十五錢

以下ノ科
料ニ處セ
ラル
罷メタル
式モ大ト
此例ニ依
リ議員相
罷メ又ハ
何々被免
シト認ムヘ

衆議院議員ニ當撰(何々ニ)御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何年徵兵何兵第何番
豫(後)備役
歸休兵何兵何等卒姓
名

右私儀今般何府縣第何區撰出衆議院議員ト相成(何市町村長、助役、収入役ニ任セラレ)候間此段及御届候也

明治何年月日

右
姓
名
印

何監視區長姓名殿

第十四條 豫備、後備役兵卒結婚セントスルハ左ノ願書ニ身元証書ヲ添ヘ監視區長ニ差出スヘシ

身元証書ハ市
町村長
ニ請求
スヘシ
願書並
ニ身元
証書共
美濃紙
ヲ用フ
ヘシ

結婚願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何ノ誰何女(姉)(妹)

某

何年月日生
何年月何歳何ヶ月

私

儀

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト結婚致シ度依テ別紙身元証明書相添ヘ差出候間御許可被成下度此段奉願候也

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

明治何年月日
何年徵兵何兵第何番
豫(後)備役何兵何等卒
姓
名
印

何大隊區司令官 姓名 殿

前書之通相違無之候也

明治何年月日

何監視區長

姓名

名印

前條許可ノ上結婚ヲ整へタル片ハ結婚濟屈書ヲ差出可シ

結婚濟御届

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

何ノ誰何女(姉)(妹)

某

何年月日 何年月日何年何月

何年月日願濟ノ上何年月日右ニ記載ノ者ト結婚相整候間此段及御届候也

何府縣郡區町村何番地

族籍職業

明治何年月日 何年徵兵何兵第何番 姓

名印

何大隊區司令官 姓名 殿

第十五條 下士適任証書ヲ所持スル豫備、後備ノ兵卒滿期後引續キ服役セント欲ス

ル片ハ年數ヲ定メ市町村長及ヒ監視區長ヲ經テ大隊區司令官ニ願出ヘシ

引續キ豫(後)備役服役願

何府縣郡區町村何番地

族籍職業 戶主(某弟)(何々)

何年徵兵何兵第何番 豫(後)備役上等兵 姓

名

右私儀現役滿期之際頭書ノ通り下士適任証書下賜リ豫(後)備役へ編入 相成候就テハ來ル何月日後備役(國民兵)ニ入ルヘキ筈ニ候處身体尙ホ

強壯ニ(年齢未タ定限ニ至ラス)候間來ル何年月日迄引續キ豫(後)備役ニ服シ度候依テ御許可被成下度此段奉願候也

明治何年月日
右 姓 名 印

何大隊區司令官姓名 殿

兵役者須知終

明治廿四年九月十日印刷

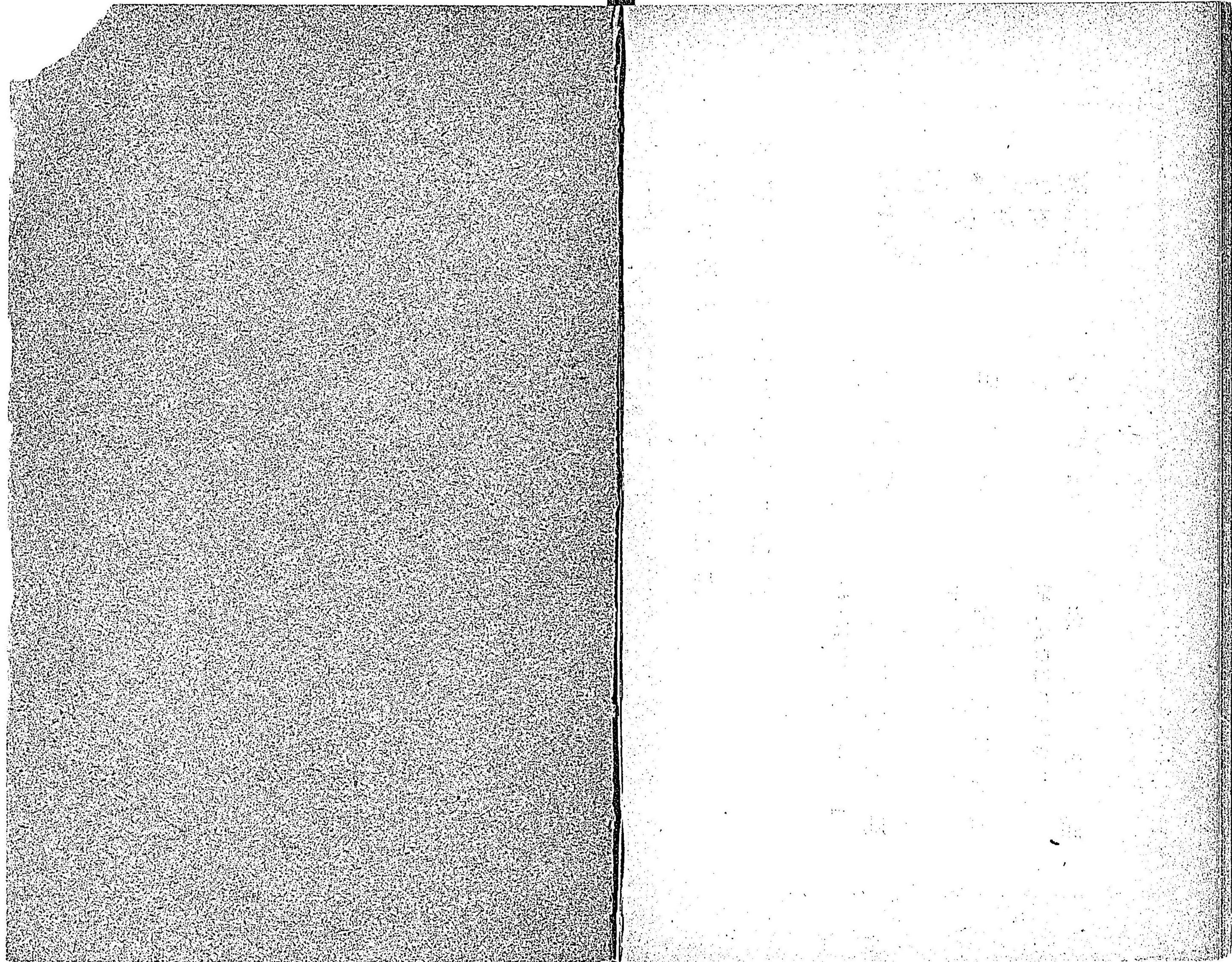
明治廿四年九月十四日出版

編輯兼 發行人
赤坂區表町二丁目十一番地
矢野惣太郎

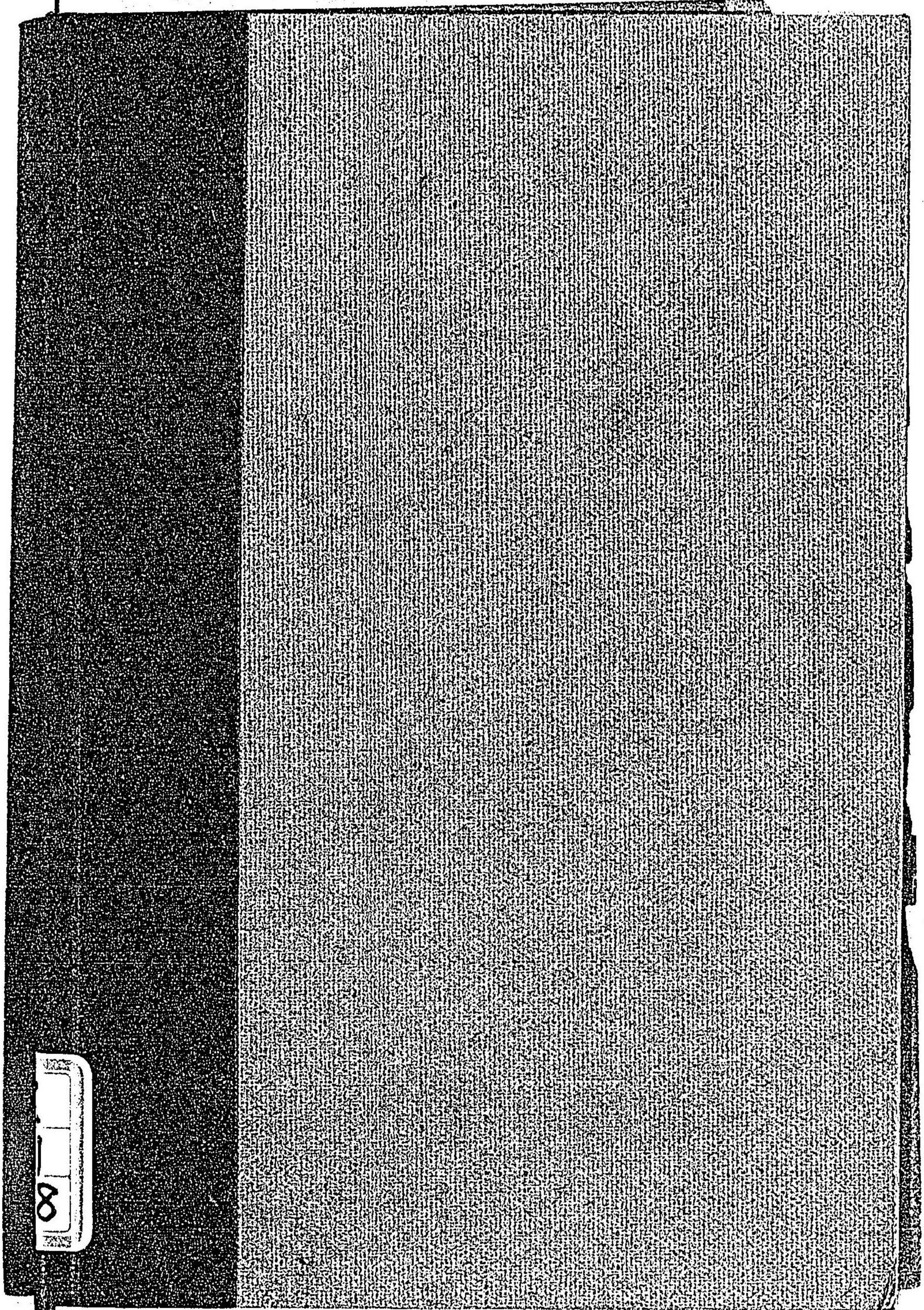
印刷人
日本橋區新和泉町一番地
瀧川三代太郎

發兌所
京橋區南紺屋町一番地
兵教史館





EX 32-011



8

CZ
671
088

兵役者須知

国立国会図書館

CZ
671
088

039108-000-9

CZ-671-088

兵役者須知

兵教史館

M24.9

BCC-0356



